

令和5年5月18日
国土交通省九州地方整備局
遠賀川河川事務所

遠賀川河口堰のゲート操作訓練を実施！ ～梅雨入りを前に、災害時の不測の事態に備えて～

遠賀川河口堰のゲート操作は、通常コンピュータによる自動制御を行っています。しかし、災害等で不測の事態が発生し電力供給が断たれた場合には、手動によるゲート操作が必要となります。

このような不測の事態に確実な操作を行うため、職員によるゲートの手動操作訓練を行います。

手動によるゲート操作には、対応する人員の確保が必要であるため、近隣事務所である北九州国道事務所、山国川河川事務所との応援体制を確立するために、両事務所との合同でゲート操作訓練を実施します。

※ 不測の事態：災害等により停電となり、発電機も稼働不能で全ての電源がダウン
手動での操作：現地ゲート操作室において、予備エンジンを稼働しゲートの開閉

1. 日 時：令和5年5月22日（月） 14時00分～16時30分を予定。
（降雨等により河口堰が水防体制となった場合は操作訓練を中止します。）
2. 場 所：国土交通省 遠賀川河川事務所 河口堰管理支所（遠賀郡水巻町猪熊10-7-1）
3. 訓練内容：電源喪失を想定しゲート操作室内で予備エンジンを使用したゲート開閉操作を実施

【問合せ先】

国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所

福岡県直方市溝堀1丁目1-1

施設管理課長 福島 研一郎（電話：0949-22-1830（代表））（内線391）

河口堰管理支所長 松川 浩 （電話：093-201-1675（代表））（内線66-21）

【同時発表記者クラブ】 ■北九州地区、□直方地区、□飯塚地区、□田川地区

1. 遠賀川河口堰の概要

1) 河口堰建設の目的

河口堰は、河道の洪水疎通能力の増大（治水）と塩害の防除（塩害防止）を図ると共に、新規都市用水の確保（利水）を図るため建設を行い、昭和55年に本体完成。

2) 河口堰の概要

遠賀川河口より2km上流に位置し、主ゲート8門、微調節ゲート1門、魚道ゲート1門により洪水調節等を行っている。

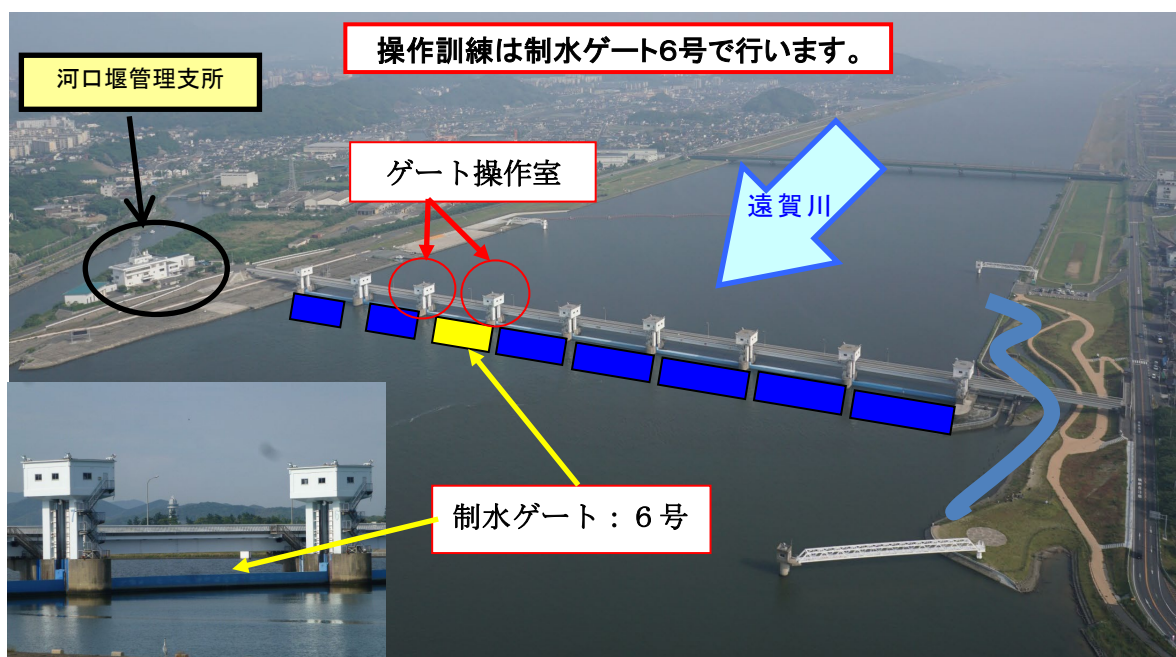
ゲート概要

主ゲート・・・制水ゲート×7門、調節ゲート×1門（幅46.5m×高6.5m）

微調節ゲート・・・油圧式転倒ゲート×1門（幅10.0m×高2.8m）

魚道ゲート・・・油圧式転倒ゲート×1門（幅3.5m×高1.45m）

2. 操作訓練の対象ゲート



3. 操作訓練の状況



ゲート操作室における訓練の状況